

# AMDAカード拡大

全日信販

地方信販最大の全日信販(岡山市、平田敏重社長)は医療ボランティアNGO(非政府組織)のAMDA(アジア医師連絡協議会、(アジア代表)に援助金を寄付するクレジットカード「AMDAカード」を拡大する。企業との提携カードをAMDAカードに切り替え、地元を中心にカードの知名度を引き上げる考えだ。

既に両備バス(同、松田亮社長)を核とする両備グループとの提携カードをすべて「ブルースカイAMDAカード」に切り替えたほか、創作屋ブティック(同、池田和繁社長)との提携カードを来年までに順次、「創作屋AMDAカード」に切り替える。これによりAMDAカードは二万枚程度になる見込み。

AMDAカードは加盟店での利用金額の〇・五%を援助金として、全日信販がAMDAに寄付するクレジットカードで四月から発行している。会員は三年後に十万人を目指しているが、カードの趣旨から派手な広告活動などは控えており、現在までの発行枚数は二千枚にとまっている。

提携AMDAカードは提携先の社員や取引先が取得するほか、通常のAMDAカードより割引などの特典が多いため会員を拡大しやすい。同社は「今後も趣旨に賛同してくれる企業を募り、提携AMDAカードを増やしていきたい」(総合企画部)としている。